



IR HANDBOOK

第65期 事業のご報告
2013.4.1▶2014.3.31

人を豊かに、地球を美しく

私たち松田産業は、地球資源を有効活用し、業を通じて社会に貢献します。

拡大・成長
牽引部門

貴金属関連事業

売上高構成比
71.4%

事業の成り立ち

1935年に、フィルムなど写真感光材料から、銀の回収・製錬を始めたことが事業のルーツです。銀の製造は金、白金族の貴金属事業へと展開するとともに、定着液や現像液の処理を伴うこの事業は、環境事業へと発展しました。



貴金属事業の概要

半導体・電子部材や、貴金属地金・貴金属化成品の製造・販売、貴金属のリサイクル、薄膜形成装置治具の精密洗浄等を行っています。エレクトロニクス業界、半導体・電子部品業界を主要顧客としています。

環境事業の概要

感光材料に含まれる銀のリサイクルと、その他製造業から発生する産業廃棄物の収集・運搬、廃酸・廃アルカリなどの無害化中間処理、リサイクルを行っています。

貴金属事業の強み

- めっき用化成品などエレクトロニクス業界向け製品を開発・製造・販売。
- 高度なノウハウで前処理から分析、製錬まで対応。金、銀、白金族などを確実に回収する技術力の高さと取扱高は業界トップクラス。当社の貴金属地金は世界の流通市場で品質が保証されています。

環境事業の強み

産業廃棄物処理からリサイクルまで、トータルリサイクルソリューションを提供。全国を網羅する産業廃棄物収集・運搬許可網を活用し、小口の廃試薬処理やPCB廃棄物の収集運搬にも柔軟に対応。

事業フロー



安定的成長
部門

食品関連事業

売上高構成比
28.6%

事業の成り立ち

1935年に、食品加工メーカーのマヨネーズ製造過程で不要となった卵白を、かまぼこなど練り製品業界向けに販売したことをルーツとしています。これをきっかけに、魚肉すりみや農産品・畜産品の取り扱いへと拡大しました。



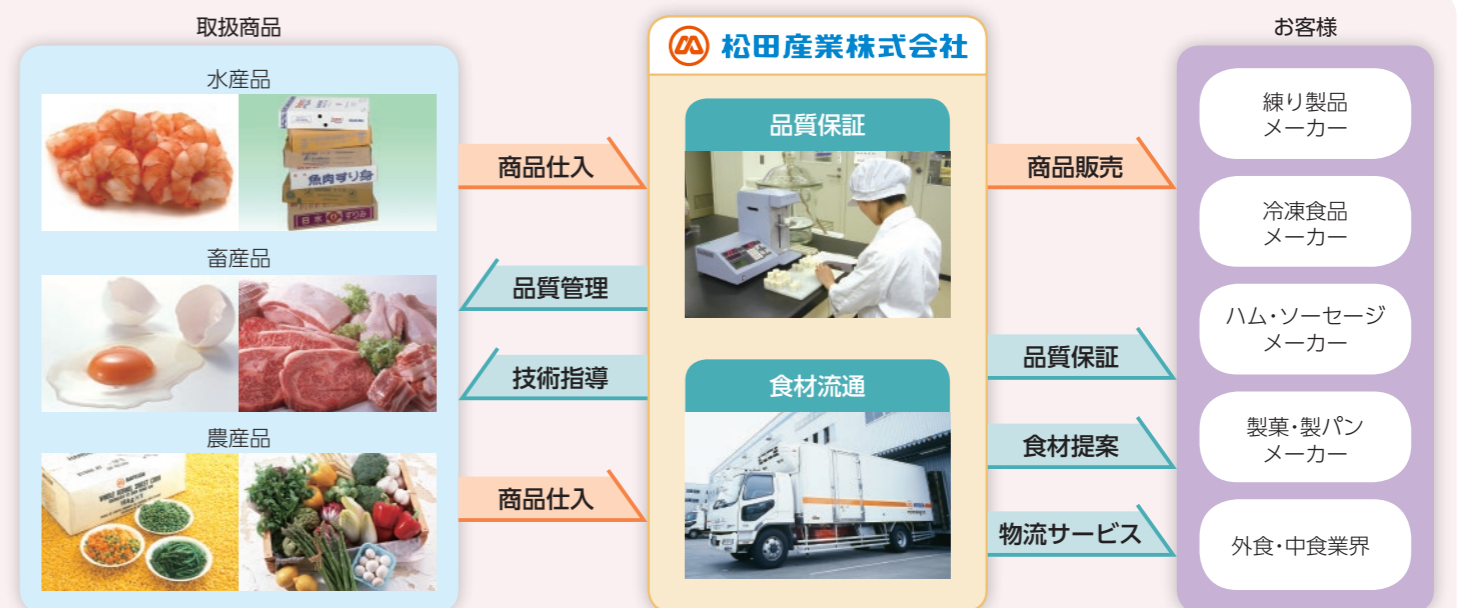
事業の概要

欧米・アジア・南米など世界各地にネットワークを広げ、安全な食材(水産品・畜産品・農産品など)を調達しています。練り製品やハム・ソーセージ、冷凍食品などの加工食品メーカーや、製菓・製パンメーカー、外食・中食業界を主要顧客としています。

事業の強み

- ユーザーが最も使いやすい形態・ロットで一次加工。新鮮素材を最適技術で現地加工し、高品質・低コストな商品を提供。
- 品質保証室による技術指導、品質規格書の発行や、トレーサビリティの実施で安全・安心の差別化。
- すりみ、エビ、タコ、貝、卵、畜産品、乾燥野菜、冷凍野菜など、多種多様な商品を提供。

事業フロー



揺るぎないビジョンのもと、 持続的成長の確保へ向けた重点施策を 着実に進めていきます。



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社の2014年3月期（2013年4月1日～2014年3月31日）のIR HANDBOOKをお届けいたします。本誌を通じて、当社に対するご理解を深めていただければ幸いです。

代表取締役社長 松田 芳明

2014年3月期の業績と配当につきまして

国内では政府による経済政策や円安の効果等により緩やかな景気回復傾向が続いたものの、アジア経済の成長鈍化等を背景に金製品・銀製品・電子材料の販売量が減少したことなどから、貴金属関連事業は、減収減益となりました。食品関連事業では、円安により仕入価格が上昇しましたが、販売数量の確保と適正価格維持への取り組みが功を奏し、増収増益となりました。

以上により、当社の2014年3月期の連結業績は、売上高は前期比1.1%減の1,654億16百万円、営業利益は同19.1%減の45億3百万円となりました。経常利益は同19.6%減の48億93百万円、当期純利益は同20.3%減の31億92百万円となりました。

期末配当金につきましては、期初の予定通り1株当たり12円とし、第2四半期末配当金12円と合わせた年間配当金は、前期と同額の24円といたしました。

成長ビジョンのもと、重点施策をグローバルかつ 着実に進めてまいります

貴金属関連事業では、商品・サービス力のさらなる強化により、グローバル競争力と収益力を高め、持続的成長を確保してまいります。エレクトロニクス産業の一大拠点である東アジアにおいて「No.1リファイナー」を目指すというビジョンのもと、本年3月にはベトナム現地法人を設立し、貴金属製錬工場の建設準備を進めています。フィリピンでは新たに自社倉庫を購入し貴金属原材料の回収機能強化に取り組んでいるほか、タイ、シンガポール、マレーシア、中国でも事業拡大に注力しています。日本では、本年1月より本格稼働した武蔵第三工場を核に効率化と生産性の向上を進めているほか、めっき用化成品分野を中心とする新商品開発にも積極的に取り組んでいます。

食品関連事業では、引き続き食材調達力の強化と販売先拡大をグローバルに展開してまいります。当社グループならではの品質保証ノウハウを活かし、安全・安心かつ高品質で安定的な食品原料の供給によって事業を差別化し、変化する需要業界のニーズに対応した営業の拡大を目指してまいります。

これからも当社は重要な社会的使命を帯びた企業として、貴金属関連事業を成長牽引部門、食品関連事業を安定的成長部門と位置付けた持続的成長を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも何卒一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2014年3月期 ハイライト

貴金属関連事業

- 2013年6月
JPCA Show 2013 (第43回国際電子回路産業展)に出展
- 2014年1月
入間地区の武蔵第三工場が本格稼働
- 2014年3月
ベトナムに現地法人を設立

食品関連事業

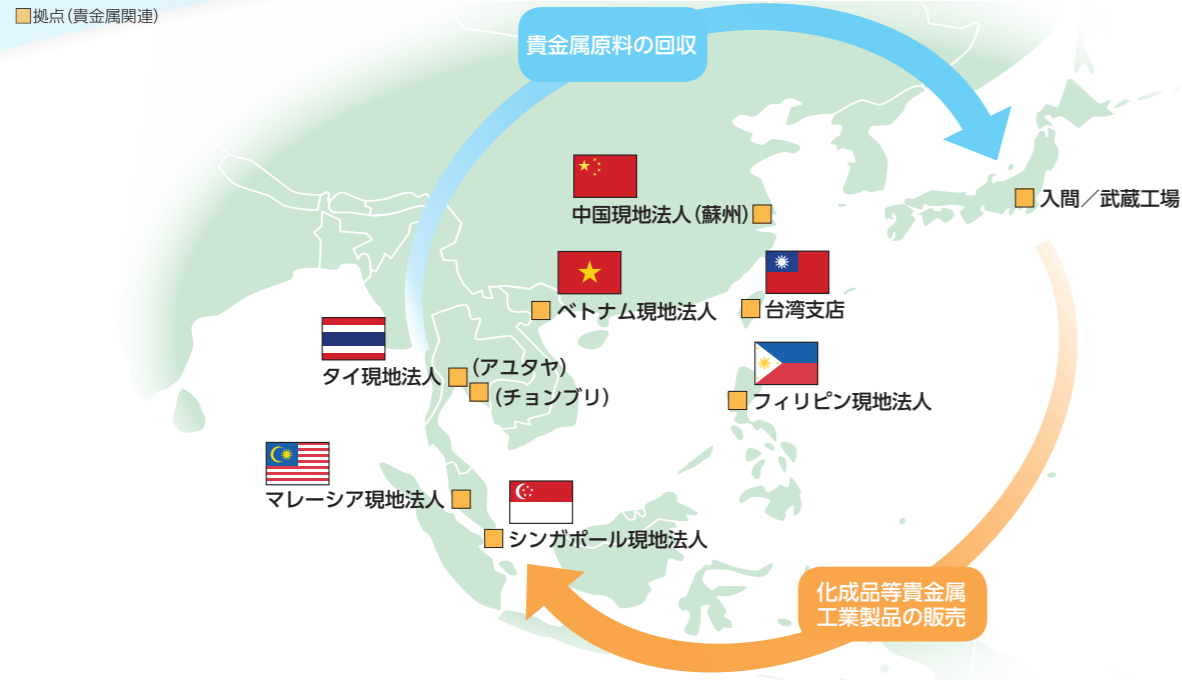
- 2013年7月
松山営業所を開設

その他経営関連

- 2013年6月～2014年3月 (複数回)
自己株式の取得を実施

グローバルネットワーク & 営業概況

貴金属関連事業 東アジアネットワーク



食品関連事業の 拠点と主な調達先



貴金属関連事業

2014年3月期の業績

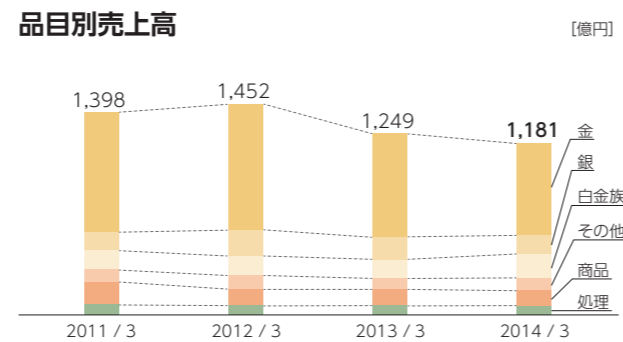
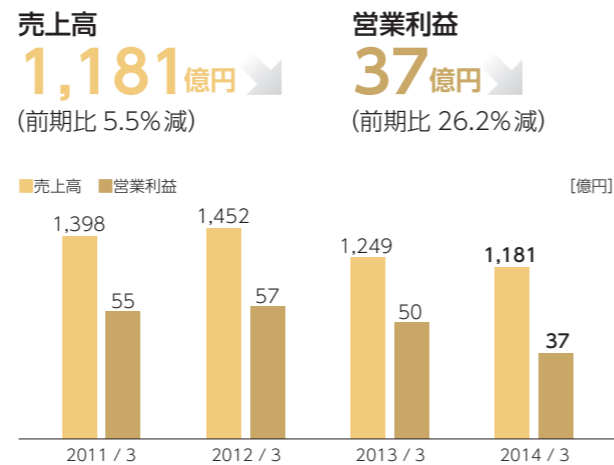
主力顧客である半導体・電子部品業界の生産状況は緩やかな回復傾向にあり、白金族製品の販売は増加しましたが、金製品、銀製品および電子材料の販売量は減少し、全体としての売上高は減少しました。環境部門では、産業廃棄物の取扱量は増加したものの、写真感材回収による銀の数量が減少し、売上高は減少しました。

2015年3月期の見通しと施策

半導体・電子部品業界は緩やかな回復過程にあり、貴金属原料回収量も徐々に増加することが期待されるなか、持続的成長の確保へ向け、「海外拠点の強化」「国内拠点の整備」「製品・技術の開発」に取り組んでいます。

Q 貴金属関連事業の商品を
実際に見てみたいのですが…

当社は常設ショールーム等は設置していませんが、開発した化成品等の商品を各種展示会に出展しており、最近では「第1回 高機能金属展」(2014年4月)に参加いたしました。今後も参加予定展示会を当社ホームページで随時お知らせしますので、是非ご参加ください。



食品関連事業

2014年3月期の業績

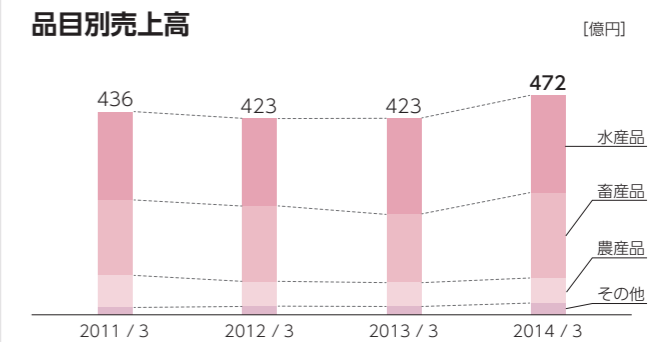
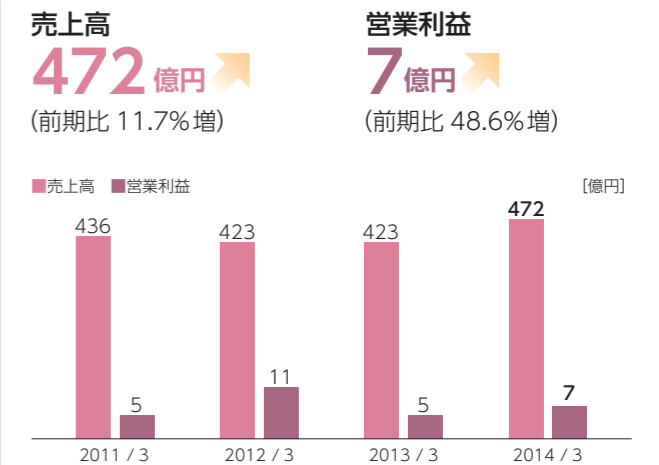
消費が伸び悩む一方で円安の影響等により原価が上昇する厳しい事業環境の中、顧客が求める安心・安全、かつ高品質な商品の調達・販売に努めた結果、水産品および畜産品は販売量・売上高とも増加しました。農産品は販売量が僅かに減少したものの、売上高は増加しました。

2015年3月期の見通しと施策

国内景況感の改善を背景に高付加価値品の需要拡大が期待される中、海外拠点の活用も含め、顧客ニーズを的確にとらえた営業活動を行い、着実な収益確保を図ります。

Q 安心・安全な食品提供における、
松田産業ならではの特徴はどのような点ですか？

当社では品質保証室が、ISO9001に基づくグローバルな品質管理を品質・安全性・トレーサビリティの面から行っています。加えて海外各拠点においては、社員自らが調達先に足を運んで検査を行うなど、食の安心・安全を確実なものとする取り組みを実施しています。



事業関連トピックス

貴金属関連事業

入間地区の新工場が本格稼働！

当社の貴金属関連事業の主力拠点のある入間地区では、今後のさらなる事業発展に備えるため、リニューアルを進めています。その一環として2013年10月に武蔵工場の近隣に完成した武蔵第三工場が、本年1月より、本格稼働しました。従来工程の一部を移管し、多様な貴金属原料の処理を、より高い効率と生産性で行います。

【武蔵第三工場の概要】

所在地：埼玉県入間市大字狭山ヶ原字松原108番9

特徴：クリーンかつ高いセキュリティ性を備えた高効率ライン

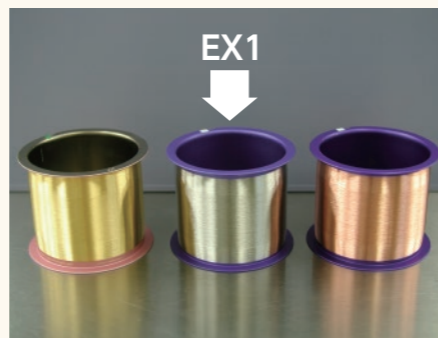


武蔵第三工場

銅ボンディングワイヤ「EX1」がスマートフォン用半導体向け等で好調！

新日鐵住金(株)と、当社の関連会社である日鉄住金マイクロメタル(株)※は、銅ボンディングワイヤ「EX1」の開発で、2014年度文部科学大臣表彰の「科学技術賞」を受賞しました。これは半導体内部でICチップと外部端子を接続する金属細線「ボンディングワイヤ」において、独自技術で銅をパラジウムで被膜することにより、金ワイヤより低価格で、かつ銅ワイヤの弱点を克服したものです。現在、スマートフォン用半導体向け等で販売が好調に推移しています。欧米や台湾をはじめとする世界中のお客様に支持され、銅ボンディングワイヤ市場でトップシェアの地位を確立しています。

※松田産業が30%、新日鐵住金マテリアルズ(株)が70%出資の合弁会社で、当社の持分法適用会社



ボンディングワイヤ(中央が「EX1」)

ベトナム現地法人が製錬工場建設着工へ！

ベトナムに駐在員事務所を設置し、現地法人の設立準備を進めてきましたが、このたび、現地法人を設立し、製錬工場建設準備をスタートしました。ベトナムでは顧客企業の進出が進んでおり、同工場の稼働により、現地における貴金属原料の回収・製錬を加速してまいります。

【工場の概要】

所在地：ベトナム社会主義共和国フンエン省タンロンII工業団地

主な機能：貴金属製錬

稼働時期：2015年度前半



CSRの取り組み

PCB廃棄物の収集・運搬

創業時から培ったノウハウを基に許可を取得、数多くの実績

当社の環境事業では、強みを持つ事業の一つにPCB(ポリ塩化ビフェニル)廃棄物の収集・運搬があります。

PCBは絶縁性・不燃性が高いという特性から、日本の高度経済成長期に変圧器やコンデンサ等に広く使用されていましたが、その毒性が社会問題化し製造が中止されて以降、各事業者において保管され、2004年に設立された日本環境安全事業株式会社(JESCO)による処理が現在も進められています。

PCB廃棄物の収集・運搬業の許可取得にあたっては、収集・運搬ガイドラインの遵守、漏れ防止型専用搬送容器の使用、GPSによる運行状況管理等の厳しい条件が課せられています。写真廃液からの銀回収からスタートし、産業廃棄物や特別管理産業廃棄物の収集運搬を全国ネットワークで展開していた当社は、長年培ったそれらのノウハウを基にJESCO東京事業所の入門許可第1号を取得。以来、東京・神奈川・埼玉等の首都圏において数多くの運搬実績があるほか、2007年には関西地区でも同事業を

スタートし、実績を積み上げています。

また、微量PCBに汚染された変圧器、コンデンサ等については、JESCOへの運搬で培った信頼・実績をもとに、全国の無害化処理認定施設(焼却施設)への運搬はもとより、事業所間・構内移動、漏洩機器の補修作業、適切な保管方法のご提案等、事業者のニーズに合わせたサービスを展開しています。

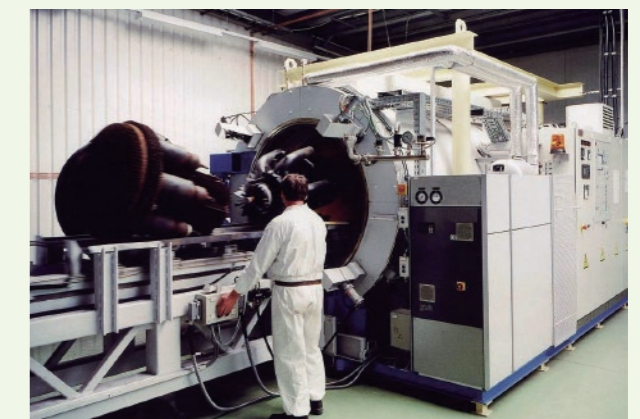


PCB廃棄物専用運搬車両

子会社ゼロ・ジャパン(株)はPCBを処理する技術を保有

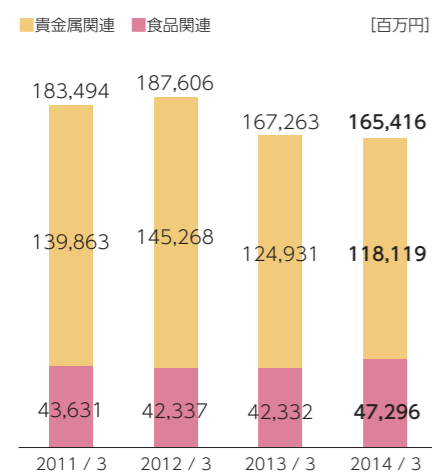
JESCOのPCB処理施設のうち、北九州および大阪の処理施設において、当社の子会社ゼロ・ジャパンの技術が前処理において採用されています。これは真空加熱分離(VTR)法とよばれるもので、真空炉にPCB汚染物を入れ蒸発させ、液体化し分離回収する技術です。VTRは全プロセスが密閉系のため環境負荷が小さく、PCB汚染物からほぼ全てのPCBを安全に分離回収することから、高く評価されています。

また、微量PCBに汚染された変圧器、コンデンサ等のうち、移動困難な大型機器等については、洗浄設備を現地に持ち込み無害化処理する技術を開発しました(SMCC分解・洗浄法)。現在は無害化処理認定制度を活用し、微量PCBに汚染された変圧器等の無害化処理に取り組んでいます。

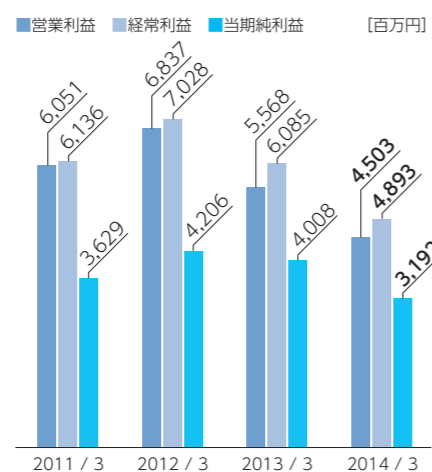


VTR装置

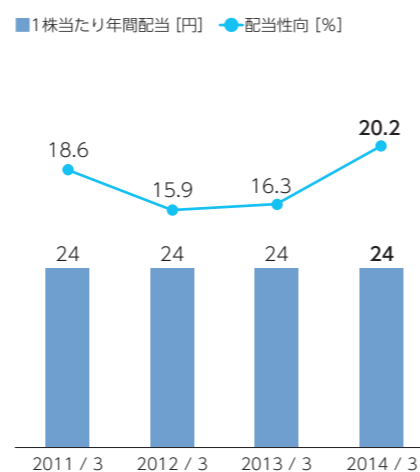
売上高



営業利益/経常利益/当期純利益

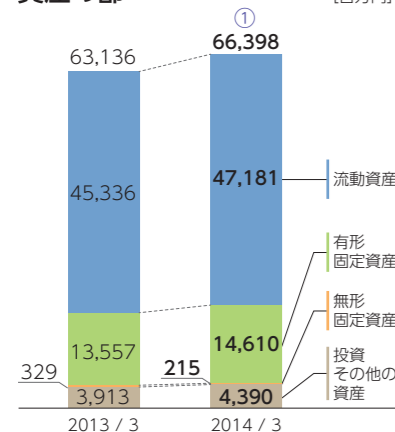


1株当たり年間配当/配当性向

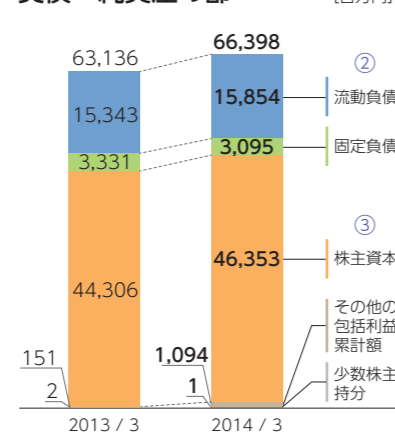


貸借対照表

資産の部

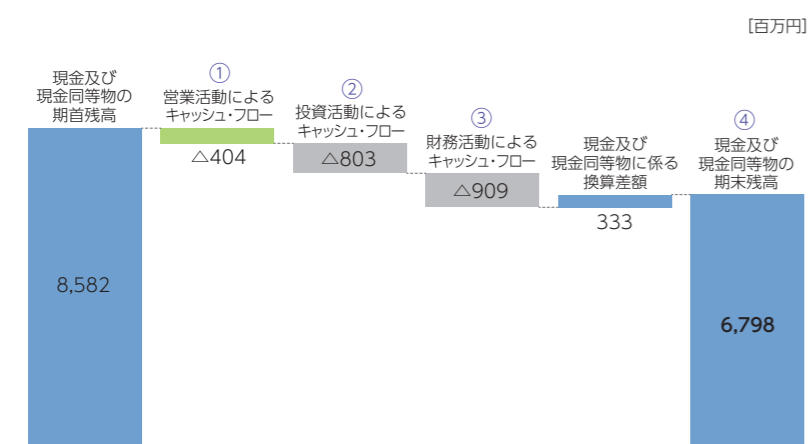


負債・純資産の部



- ①現金及び預金・売上債権の減少を上回る棚卸資産・有形固定資産の増加により、3,262百万円の増加となりました。
- ②未払法人税等の減少を上回る未払金の増加等により、274百万円の増加となりました。
- ③配当金の支払いと自己株式の取得による減少を、当期純利益による増加が上回ったことにより、純資産の部は2,988百万円増加しました。

キャッシュ・フロー計算書



- ①税金等調整前当期純利益の増加と、法人税等の支払額、売上債権の減少および新工場の立ち上げに備えた製品の確保等による棚卸資産の増加の差引等により、404百万円の支出となりました。
- ②工場設備の新設・更新等の有形固定資産取得等により、803百万円の支出となりました。
- ③配当金の支払と自己株式の買付け等により、909百万円の支出となりました。
- ④以上により、現金及び現金同等物の期末残高は前連結会計年度末から1,784百万円減少し、6,798百万円となりました。

会社概要

(2014年3月31日現在)

商号 松田産業株式会社
 本社所在地 東京都新宿区西新宿1-26-2
 設立年月日 1951年6月18日
 資本金 3,559百万円
 従業員数(連結) 975名
 主な事業内容 貴金属回収製錬、貴金属地金・電子材料他の販売、食品加工原材料の卸売、産業廃棄物の収集・運搬・処理
 会計監査人 新日本有限責任監査法人

役員一覧

(2014年6月26日現在)

代表取締役社長	松田 芳明	監査役(常勤)	内山 敏彦
取締役副社長	對馬 浩二	監査役	谷 哲夫
専務取締役	徳永 庸夫		熊坂 博幸
常務取締役	細田 顕治 片山 雄司		樋口 和男
取締役	佐々木 隆茂 山崎 隆一 伊藤 康之 馬場 信明 木下 敦視 石禾 健二		

事業所

- 貴金属事業部** 本部 / 仙台 / 水戸 / 東京 / 長野 / 名古屋 / 大阪 / 金沢 / 福山 / 福岡 / 鹿児島 / シンガポール(現地法人) / タイ・アユタヤ(現地法人)・チョンブリ(営業所) / フィリピン(現地法人) / マレーシア(現地法人) / 中国・蘇州(現地法人) / ベトナム(現地法人) / 台湾(支店)
- 食品事業部** 本部 / 仙台 / 塩釜 / いわき / 東京 / 小田原 / 名古屋 / 大阪 / 松山 / 福岡 / 品質保証室 / 中国・青島(現地法人) / タイ・バンコク(現地法人)
- 環境事業部** 本部 / 仙台 / 埼玉 / 東京第一 / 東京第二 / 水戸 / 神奈川 / 名古屋 / 大阪 / 福岡
- 生産本部** 武蔵工場 / 武蔵第二工場 / 武蔵第三工場 / 入間工場 / 入間第二工場 / 開発センター

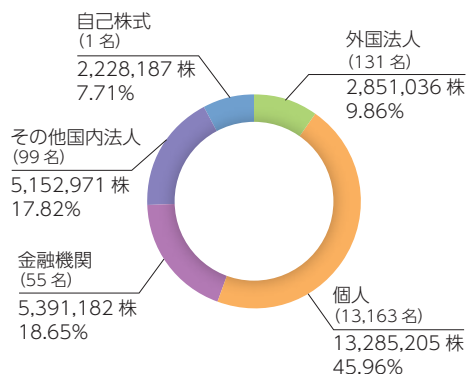
グループ会社

会社名	事業内容
Matsuda Sangyo (Thailand) Co., Ltd.	金属原料の回収・販売、貴金属製商品の販売
Matsuda Sangyo (Philippines) Corporation	金属原料の回収・販売、貴金属製商品の販売
South Gate Realty Holding Inc.	土地賃貸
Matsuda Sangyo (Singapore) Pte. Ltd.	金属原料の回収・販売、貴金属製商品の販売
松田資源利用(蘇州)有限公司	金属原料の回収・販売、貴金属製商品の販売
Matsuda Sangyo (Malaysia) Sdn. Bhd.	金属原料の回収・販売、貴金属製商品の販売
Matsuda Sangyo (Vietnam) Co., Ltd.	金属原料の回収・販売、貴金属製商品の販売
マツダ環境(株)	車両管理・貴金属製品販売
北海道アオキ化学(株)	産業廃棄物の収集・運搬および処理、金属原料の回収・販売
日本メディカルテクノロジー(株)	金属原料の回収・販売
ゼロ・ジャパン(株)	真空加熱分離装置(VTR)の設計・製造・販売および保守
日鉄住金マイクロメタル(株)	電子工業用金属製品の製造・販売
松田商貿(青島)有限公司	食品加工原材料の販売、仲介
Matsuda Sangyo Trading (Thailand) Co., Ltd.	食品加工原材料の販売、仲介
マツダ流通(株)	貨物自動車運送および食品加工原材料の販売

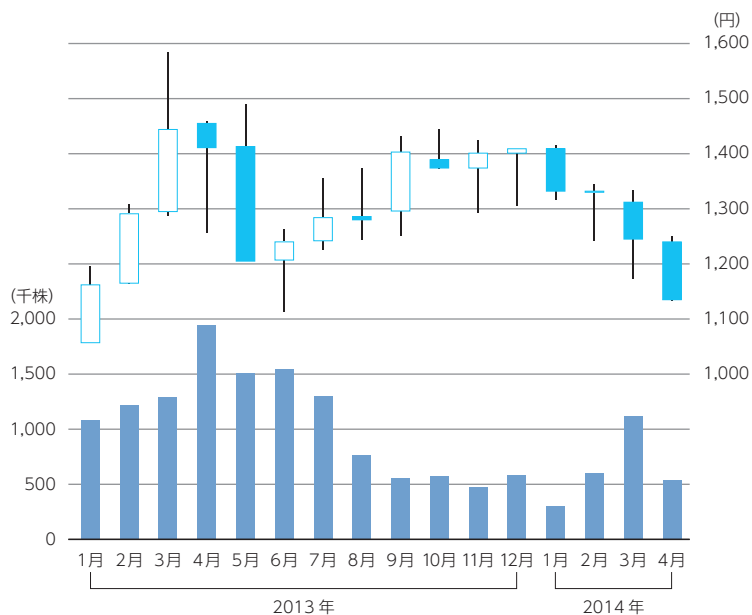
株式の状況 (2014年3月31日 現在)

株式の総数	40,000,000株
発行済株式総数	28,908,581株
株主数	13,449名

所有者別分布状況 (2014年3月31日 現在)



株価・出来高推移



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://ir.matsuda-sangyo.co.jp/ja/Top.html (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

株主優待

1 対象株主

毎年3月31日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された、1単元(100株)以上保有の株主様を対象といたします。

2 優待の内容

一律2,000円相当の当社オリジナル「QUOカード」を贈呈いたします。



3 贈呈の時期

毎年1回、当社定時株主総会終了後の6月下旬発送を予定しております。

ホームページのご案内

松田産業

検索

トップ画面

さらに見やすく、わかりやすいホームページにリニューアルしました。ぜひ、ご覧ください。



松田産業株式会社

証券コード: 7456

東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル
Tel. 03-5381-0001 (代表)

